

# 経営分析に難しい知識は要らない→基本知識だけで大丈夫 ～決算書は読むものではない！～ 誰でも会社の姿をあぶり出せる「経営分析の正しい手順」

## ～収益認識会計基準適用後の留意点も解説～

経営分析には「手順」があります。手順のとおりに進めていけば、比較的容易に会社の経営をつかむことができます。経営分析で大事なことは、経営指標の算定方法や意義を理解・記憶することではありません。多くの経営指標の中からどれを選んで分析するか、そして、どのような手順で分析するかということが大切です。

本セミナーでは基本的な経営指標を使って、「経営指標の選択」と「分析の手順」を中心に解説していきます。また、本年3月に公表された収益認識会計基準が、経営分析に及ぼす影響も解説します。収益認識会計基準は、「売上高」に大きなインパクトを与えるものと予想されますが、どのような取引、どのような業種でそれが起こるのかを概説します。尚、経営分析のケーススタディでは、2017年度のデータによる最近の事例を使用します。

### ●開催要領●

●日 時●2018年 8月9日(木) 13:30～16:30

●会 場●企業研究会セミナールーム(東京・麹町)

### 講師紹介

石王丸公認会計士事務所

公認会計士

石王丸 周夫 氏

### 石王丸周夫(いしおうまる・のりお)氏ご略歴

1968年生まれ。慶応義塾大学商学部卒業。監査法人トーマツ(現・有限責任監査法人トーマツ)にて会計監査実務に従事し、多くの企業を担当。2004年に石王丸公認会計士事務所開業。現在は、監査や上場企業へのディスクロージャー・コンサルティングを中心に活動している(事務所ホームページ <http://www.ishiomaru.com>)。主な著書に、「最短で導き出す分配可能額」、「パターン別 計算書類作成うっかりミスの防ぎ方」「決算書あぶり出し分析法」(清文社)セミナー当日、こちらの書籍をテキストとして配付します> がある。

### ●ご参加頂きたい方●

経理、経営企画、監査、事業部門、広報・IR部門等に所属され、経営分析の基本を学びたい方

### ■受講料:1名(税込み、テキスト代含む)

正会員	30,240円(本体価格28,000円)
一般	32,400円(本体価格30,000円)

### ■参加要領

当ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。後日、(開催日1週間前～10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

\*正会員登録の有無など、よくあるご質問(FAQ)は、当ホームページでご確認いただけます。

((セミナー・会員研究会)→[よくあるご質問])

\*お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。

\*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、予めご了承ください。

\*申込書をご送信頂く際はくれぐれもFAX番号をお間違えないようご注意ください。

### ■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局

担当/鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp

TEL:03-5215-3513 FAX:03-5215-0951

東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル(旧 麹町M-SQUARE)2F

当ホームページよりお申込みいただくのが便利です。

企業研究会 セミナー Q 検索

※書面にてお申込みの場合には下記申込書をご記入の上、FAXにてお送りください。

181553-0601		あぶり出せる「経営分析の正しい手順」	
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-mail			

## ● プログラム ●

8月 9日  
(木)

13:30

途 中  
休憩タイム  
あ り

16:30

1. あぶり出し分析法 STEP 1 (ケーススタディ) : 全体像を把握する
  - (1) 全体像把握のポイント
  - (2) 全体分析は B/S、P/L の大きい数値を使う
  - (3) 単年度の数字だけで判断しない
  - (4) 同業他社比較の限界
  - (5) 東証上場会社の平均値と比較する (2010 年度～2017 年度)
  - (6) ROA 平均値と景気循環の関係 (1998 年 3 月期～2018 年 3 月期)
  - (7) ROA の東証上場会社平均値の入手法 (2018 年 7 月現在)
  - (8) 業種によってこんなに違う ROA 値 (2011 年 3 月期～2018 年 3 月期)
2. あぶり出し分析法 STEP 2 (ケーススタディ) : 範囲を絞る
  - (1) ROA を分解して要因を探る
  - (2) 売上高利益率の種類
  - (3) グラフで見る売上高営業利益率の特徴 (1998 年 3 月期～2018 年 3 月期)
  - (4) グラフで見る総資本回転率の特徴 (1998 年 3 月期～2018 年 3 月期)
  - (5) 指標はグラフにして視覚的に判断
3. あぶり出し分析法 STEP 3 (ケーススタディ) : ストーリーを探り出す
  - (1) 売上高利益率の変動要因はこの 2 つだけ
  - (2) 利益率と売上高の関係からわかること
  - (3) 利益率と売上高を 2 軸でグラフ表示 (2011 年 2 月期～2018 年 2 月期)
  - (4) 数値を比率に置き換えて増減比較
  - (5) 決算書は知りたいところだけ掘り下げればよい
  - (6) 分析で得られた結果の背景を考える
4. 収益認識会計基準の適用で利益率は高くなる
  - (1) IFRS 移行時に売上高が激減
  - (2) テナント売上の会計処理 (IFRS 移行 Before After)
  - (3) 売上の純額表示で利益率上昇
  - (4) ライバル会社との比較が可能になる
  - (5) 有償支給先における売上は総額 or 純額?
  - (6) リベートの支払額は売上と両建て or 相殺?
5. 知っておきたい他の経営指標 (ROE、自己資本比率等)
6. ROE について知っておきたい応用知識 (ROE を引き上げるには? 他)
7. Excel によるグラフ作成の初歩